

薬用

シャンプー

BioPlus

冬は乾燥肌による皮膚のトラブルが増えてきます。美容のためだけでなく、皮膚の健康維持のためにもシャンプーの選択は大切です。そこで今回は薬用効果のあるシャンプーについて紹介させていただきます。

★シャンプーの目的

主な目的は3つあります。

- ① 美容目的 ② 皮膚病治療 ③ スキンケア

★薬用シャンプー療法

薬用シャンプーは、皮膚病の治療はもちろん、皮膚の健康維持（スキンケア）にも使用できます。皮膚に症状がある時は、その症状に効果のある薬用シャンプーを選択する必要があります。また、日常の管理の中で、より良い皮膚や被毛の状態維持や、皮膚病の予防にも役立ちます。

目的や皮膚の状態によって、使用頻度もかわりますので、日々の皮膚の観察は重要です。皮膚症状が重篤な場合は、週2～1回から始めて、改善があれば、段々とシャンプーの間隔をあけていきます。患部の局所的な部分洗いを毎日あるいは数日毎に行うことも効果的です。

一般的に、薬用シャンプーは十分な薬用効果を得るために、皮膚にシャンプー剤をつけた状態で、マッサージしながら5分間放置後に、洗い流します。

★健康管理の為に、定期的なシャンプーで、犬・猫の皮膚の状態を清潔に保つことは重要です。

また、頻繁すぎるシャンプーが逆効果になることもありますので、ご注意ください。

★シャンプーの種類

	ノルバサン	マラセブ (動物用医薬品)	コラージュ フルフル	ケラトラックス	ビルバゾイル (猫使用不可)	ヒュミラック (保湿剤)
抗菌作用	◎	○	○			
抗真菌作用		◎	◎			
角質溶解作用				○	◎	
	膿皮症治療の他に日常のシャンプー間隔の延長効果も期待できる保湿剤配合	真菌症治療。抗真菌薬内服と併用すると良い。抗真菌剤配合。皮膚常在菌の異常増殖抑制。	マラセブに比べて、抗真菌剤の配合量が少ない。犬舎内での真菌症拡大の予防時にも。	カサカサなフケ向き。皮脂をコントロールし、フケや過剰な皮脂を取り除く。	ベタベタなフケ向き。皮脂を強力に取り除く。(猫使用不可) シャンプー後、保湿剤の使用が必要。	尿素を配合したコンディショナー。薄めてかけ流すタイプ。すべてのシャンプー後に使用可。

※毎日のブラッシングや耳掃除、定期的な爪切りをすることも大切です。

※マラセブシャンプーの処方には、病院での診察が必要です。その他、ご紹介した、シャンプー、コンディショナーは、バイオプラスファーマシーで取り扱っております。

☎03-5646-6894

FAX 03-5646-5822

URL <http://www.ahb.jp>

AHB

〒135-0042 東京都江東区木場3-7-11

* 具体的にお困りの方はご遠慮なくご相談ください。

株式会社 AHB

* シャンプーやケア用品も販売しております。詳細はお問い合わせください。